

## 西神楽地域づくり研究会の活動（1996年~2001年）

### 1996（平成8）年

#### 4月 西神楽地域づくり研究会発足総会

地域住民組織や行政・学校・企業などの参加により「地域づくり」をグラウンドワークの手法を取り入れて実施することを目的に結成。

4つの部会（地域の環境を考える、農業の未来を考える、地域の振興と景観を考える、地域の歴史と遺産を考える）で研究と実践を進めることになる。

#### 8月 美瑛川ウォッチングを実施

北海道開発局（旭川河川事務所）と連携して、地域住民と西神楽地域を流れる美瑛川の河川敷（約8Km）を歩き、環境を調査した。

以降、「さと川づくり事業」として毎年実施することとなる。

#### 11月 セブンイレブンみどりの基金助成を受ける

地域づくり研究会の「地域環境改善活動」に対して、日本グラウンドワーク協会を通じて助成金が出された。（50万円）

### 1997（平成9）年

#### 3月 「さと川づくり事業」が始まる

検討委員会の発足と事業の「基本構想」を確認する。

この事業は北海道開発局旭川河川事務所の支援で2010年度まで実施

#### 地域づくり講演会を実施

上川農業試験場長（当時）相馬暁（故人）氏を講師に「これでよいのかあなたの食卓—都市と農村への提言—」と題して講演会を実施した。

この講演を契機に相馬氏と西神楽との連携が始まる。

#### 4月 「農村環境手づくり事業」に着手

北海道の助成事業を活用して、地域の環境改善と都市住民との交流事業。

- ・軒先キャンプ場（農家の軒先にミニキャンプ場を作り交流の場とする）
- ・グラウンドワーク先進地の視察
- ・農家の合併処理浄化槽の設置・整備事業
- ・ホタル飼育設備の拡充
- ・地域の花壇整備 など

#### 地域づくり研究会第2回総会（4月25日）

#### 5月 農家の合併処理浄化槽の設置・整備事業を始める

西神楽で「水洗化」していない農家のし尿処理の合併浄化槽設置希望者をつのり、旭川市とも連携し補助金の申請と業者の紹介を行う。

**8月 第2回美瑛川・辺別川ウォッチング**

さと川づくり事業として、地域住民・子供たちを対象に「川に親しむ」イベントを実施。(内容を工夫し、毎年開催することとなる)

**9月 「軒先キャンプ場」づくりを始める**

3件の農家(島さん、餌取さん、平山さん)の宅地と隣接する土地にミニキャンプ場を「手づくり」で作成。(ログハウス、炊事場、交流テントなど)

**11月 リサイクルバザーの開催**

かつて地域にあった「たち売り」(離農する仲間の家財を競売で買い取って賤別にする習慣)を参考にリサイクルのバザーを開催。

でも、なんでも鑑定団のマネも古物商を招いて実施しました。

**12月 地域づくり先進地視察**

グラウンドワーク運動の先進地域としての静岡県三島市と滋賀県甲良町を研究会の会員17名が参加して視察・交流しました。

**1998(平成10)年**

**1月 第2回「西神楽地域づくりシンポジウム」を開催**

西神楽地域住民を中心に300名が参加したシンポジウム。

記念講演は女優の浜美枝さんが「美しい日本の暮らし」と題しての話。

**4月 地域づくり研究会第3回総会(4月28日)**

**6月 地域づくりマスタープランの作成に着手**

地域づくりに向けて、地域住民のアンケート調査を行う。

- ・地域マップの作成
- ・郷土資料館の移設・拡充 なども検討課題になる。

**8月 第3回「美瑛川・辺別川ウォッチング」開催**

**地域再発見バスツアーを始める**

西神楽地域の歴史的建物や記念碑、樹木などをバスツアーで見て歩く。

**9月 美瑛川・辺別川の植生調査を始める**

「さと川事業」として、西神楽地域を流れている美瑛川・辺別川約20Km区間の河川敷の植生調査を塩田先生(旭川帰化植物研究会長)始める。

**10月 美瑛川・辺別川の小動物生態調査を始める**

「さと川事業」として、西神楽地域を流れている美瑛川・辺別川約20Km区間の河川敷の小動物の生態調査を出羽先生(旭川大学教授)と始める。

**「夢民村の食卓」を始める**

地元の食材を使い、相馬先生がプロデュースし、で花月会館の料理長がコース料理を創作したもの。旭川市民に参加を呼びかけ5000円で提供。満席!

**11月 郷土資料館が西神楽公園パークセンターに移設**

## 1999（平成11）年

- 3月 **日本グラウンドワーク協会パイロット事業を申請**  
地域づくりの本格的なプロジェクト体制の確立を目指す。
- 4月 **地域づくり第4回総会**（4月27日）  
グラウンドワーク運動を中心とした活動方針を確認。  
NPO 法人資格取得について検討を始める。
- 5月 **郷土資料館オープン**  
西神楽公園パークセンター2階に、手づくりの資料館を設置し住民に公開。
- 8月 **第4回「美瑛川・辺別川ウォッチング」を開催**  
さと川づくり事業検討委員会で、環境にやさしい「パークゴルフ場」建設について」検討を始める。  
同時に塩田先生を中心に河川敷（建設予定地）の植生・環境調査を始める。
- 9月 **フェーリアンシュトラッセ（休暇街道）構想を岩隈先生が提案**  
ドイツの休暇街道を模した、西神楽と道東（帯広）をつなぐ農家民宿を主体としたアグリツアー構想。
- 10月 **第2回「夢民村の食卓」を開催**  
前年の好評を受けて、花月会館で開催。（定員をオーバーする150名）  
同時期に、農協女性部と共催で「朝市」を始める。
- 12月 **「パークゴルフ場建設準備委員会」が発足**  
地域づくり研究会と岩熊先生、地域の有志（市民委員会・老人会など）が中心となって設置。（実行委員長は那須さん）

## 2000（平成12）年

- 1月 **パークゴルフ場を考える会を開催**  
地域住民約100名が参加してパークゴルフ場を考える会を開催。  
自分たちの手でパークゴルフ場建設を行うことを確認。
- 2月 **雪上足跡観察会を開催**  
出羽先生を中心に、地元の小学生たちと河川敷の動物たちの足跡を調査。  
（かんじきを履いて新雪に残った足跡で動物を当てる）
- 4月 **地域づくり研究会第5回総会**（4月28日）  
NPO 法人化の方針を確認。
- 8月 **「西神楽地域マップ」が完成**  
2年間の調査と検討を経て、西神楽地域の名所・旧跡・景観・動植物などを掲載した「地域マップ」を、お客さんが来たら自分の地域のことを説明できるように地域全住民に配布。
- 第5回「美瑛川・辺別川ウォッチング」開催**

・・・事務局スタッフの田中敏雄さんが病気入院のため記録が中断・・・

## 2001（平成13）年

2月 **雪上足跡観察会を実施**

4月 **地域づくり研究会第6回総会・解散総会**（4月29日）

### **NPO法人「グラウンドワーク西神楽」設立総会**

「地域づくり研究会」からNPO法人へ組織形態を変え、地域づくりを展開することを確認。法人申請の手続きに入る。

6月 **地元小・中学生による環境調査実施**

さと川事業検討委員会メンバーと地元の小中学校が連携して生徒たちの環境調査を河川敷で実施。

### **西神楽共有地地区の環境・生態調査を始める**

共有地地区の住民と連携して、地域活性化に向けての調査・検討を始める。

8月 **第6回「美瑛川・辺別川ウォッチング」開催**

### **第3回「夢民村の食卓」を開催**

元札幌ルネッサンスホテルのシェフにより屋外で実施した。

### **パークゴルフ場建設が始まる**

・・・事務局スタッフの田中さんが病気療養のため事務局業務を辞任・・・

10月 **「NPO法人グラウンドワーク西神楽」が認可**

北海道知事の認可が下り、法人登記をする。（10月10日）

設立記念の「シンポジウム」を企画することとなる。

12月 **農業生産法人「有限会社 夢民村」が設立**

夢民村は村民の生産物販売事業を担う「有限会社 夢民村」とイベントや地域改善活動を担う「どろんこ学校夢民村」を設立することとなった。

### **さと川パークゴルフ場建設準備委員会総会開催**

パークゴルフ場の建設と維持管理の検討について確認。